

自走用 屋内用

6輪車いす NA-U6

取扱説明書

この度は、製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。

製品を安全、快適にご使用いただくための大切な内容が記載されております。

ご使用前に必ずお読みください。

なお、保証書も掲載致しておりますので、大切に保管してください。

各部の名称



出荷時は運送時の安全のためにフットサポートが外側に回転して収納されている場合があります。フットサポートの戻し方につきましては、P4をご覧ください。

仕様

(シート幅40cm仕様の場合)

- 全長：91cm (87cm) ●全幅：58cm (32cm) ●全高：79～83cm (62～66cm)
- シート幅：40cm ●臀部スペース有効幅：シート幅と同寸 ●シート奥行：38cm
- 前座高：38・40・42cm ●後座高：34.5・36.5・38.5cm
- バックサポート高：45cm ●アームサポート高：24cm ●キャスタ：5インチ
- 駆動輪：20インチ<25-451> 適正空気圧100PSI/700kPa/7.0BAR
- 座クッション厚：4cm ●重量：13.7kg【座クッション含まず】
- 耐荷重：100kg【積載物を含む】

※寸法の()は折りたたみ時の値です。

車いすの拡げかた

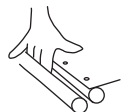
- 1** 手押しハンドルを持って軽く左右に拡げてください。



- 2** 片方の手押しハンドルを持ち上げるように反対側の座面下のパイプ部を下の方へ押し下げます。

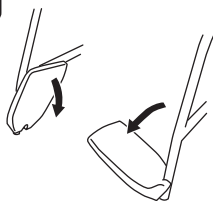


注意
警告



押し下げる際、座面パイプの下側や横側に手や指を入れないでください。危険です。

3



フットサポートプレート
を下方へ回転させるよう
にセットします。使用者
が車いすに座ってから行
うのが一般的です。

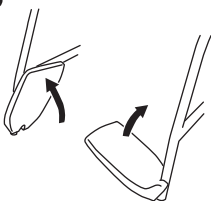
車いすの折りたたみかた

専用座クッションを装着したままでも折りたたみができます。



車いすを折りたたんで長時間保管する場合は、座クッションを車いすからはずしてください。座クッションをつけたまま、長い間車いすをたたんでおくと、座クッションに車いすフレームパイプの跡がつく場合があります。

1



フットサポートプレート
を上方へ回転させて収納
します。

2



座面シート
の、前後中央部を持
ち上げます。

3



手押しハンドルを持って、
左右から押し縮めるよう
に折りたたんでください。

バックサポートの折りたたみかた・固定のしかた

折りたたみかた



手押しハンドルを前方に押し、一方の手でバックサポート折りたたみレバーを下に押しながら、手押しハンドルを手前に引くように少し折り曲げます。反対側も同様の手順で少し折り曲げてください。続いて、左右同時に折りたたみます。

固定のしかた



手押しハンドルを握り、上方へ引き起こすように持ち上げてください。左右のスライドピンが「カチッ」とロックされたことを必ずご確認ください。



注意
警告



- 矢印の部分に手や指を置かないでください。
- 矢印の部分にバックサポートシートをはさみこまないように注意してください。
- 車いすに乗る際は、完全にバックサポートが固定されている事を確認してから、座ってください。

駆動輪の操作のしかた



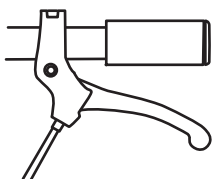
- ・乗車者がハンドリムを握り、ハンドリムを前に押ししたり、後ろへ引いたりすることで、前進又は後退します。
- ・走行中にブレーキをかけるには、ハンドリムを握って駆動輪を止めます。



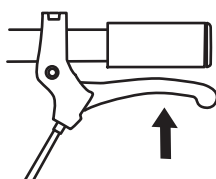
注意

タイヤを握って漕ぐと、ブレーキやフレーム、アームサポート等の間で指を挟むことがありますので注意してください。

介助ブレーキのかけかた



解除時



介助ブレーキ

左右の介助ブレーキレバーを同時に握ると介助ブレーキがかかります。



禁止

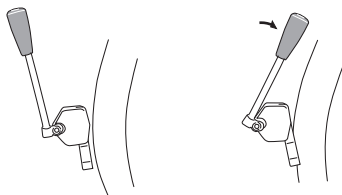
介助ブレーキは、駐車ブレーキとして使用することはできません。駐車目的では使用しないでください。

駐車ブレーキのかけかた

- レバー先端のノブを手で後方に引くと駐車ブレーキがかかります。レバーを前に戻した状態が解除です。

解除時

駐車



注意
警告

- ・駐車ブレーキは左右両輪ともしっかりとかけてください。片側だけのブレーキをかけた状態で駐車をしないでください。
- ・しっかりブレーキをかけていても、乗降時などに、横から強い力が加わると車いすは簡単に動いてしまいますので、十分注意してください。
- ・坂の途中では駐車しないでください。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをしてください。
- ・ブレーキレバーに体重をあずけたり、足でレバー操作するなど、レバーに強い力がかかる行為はしないでください。
- ・レバー操作は、ブレーキシューやタイヤに手指があたらないように注意しながら、しずかに行ってください。

フットサポートの調節のしかた



調節用ボルト

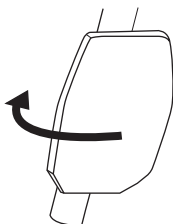
フットサポート高調節用ボルト
締め付けトルク 6～7Nm

- フットサポートプレートの上にある、調節用ボルトを4mmの6角レンチで緩めて、フットサポートの高さを合わせてから、調節用ボルトをしっかり締め付けます。
(極端に強く締めすぎると、締付けクランプ部品が破損する場合がありますのでご注意ください。)



注意

- ・調節後はしっかりと調節用ボルトを締めて固定してからご使用ください。(極端に強く締めすぎると、締付けクランプが破損する場合がありますのでご注意ください。)
- ・フットサポートを下げすぎると、段差やスロープ等でつまずくことがあります。フットサポートの最下端部で、地面から5cm以上あけてください。
- ・調節用ボルトが完全に緩んでいない状態で無理にフットサポートを動かさないでください。ポストにキズがつき、調節がしにくくなる場合があります。
- ・フットサポートに腰掛けたり、登ったりしないでください。

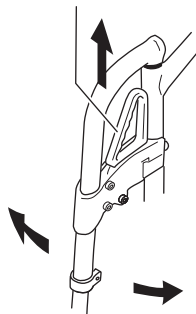


出荷時

出荷時はフットサポートを、外側に回転して収納してある場合があります。上記説明の通りに調節用ボルトを緩めて、フットサポートプレートを内側に回転させ、高さを調節してから、調節用ボルトをしっかり閉めて固定してください。

フット・レッグサポートの開閉のしかた・着脱のしかた

スイングイン・アウト用レバー



開閉のしかた・はずしかた

※乗車者の足をフットサポートから外した状態で操作を行ってください。

- スイングイン・アウト用レバーを握りながら、フット・レッグサポートを内側・外側へ回転させることで、フット・レッグサポートの開閉（スイングイン&スイングアウト）ができます。

※フットサポートプレートが
あたって、内側に回転できない場合は、フットサポートプレートを跳ね上げてから操作をしてください。



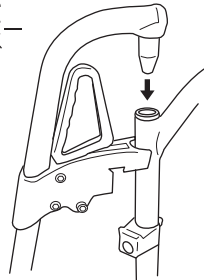
- スイングイン・アウト用レバーを握りながら、フット・レッグサポートを上方に引き上げると、フット・レッグサポートを本体からはずすことができます。



フット・レッグサポートの開閉・着脱操作は、フット・レッグサポートレバーを握りながら行います。

取付けかた

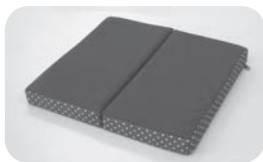
- ①フット・レッグサポートを外側に開いた状態で、フット・レッグサポートのインナーパイプをフット・レッグサポート受けパイプの穴に、上からまっすぐ差し込みます。



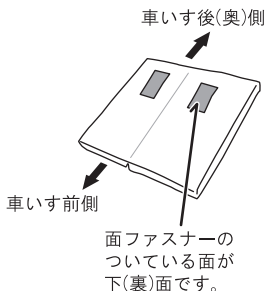
- ②スイングイン・アウト用レバーを握りながら、フット・レッグサポートがまっすぐになる位置まで、内側に回転させてください。
- ③フット・レッグサポートがまっすぐな正しい位置になったら、レバーから手を離してください。レバーが戻り、フット・レッグサポートがフレームに固定されていることを確認してください。（フット・レッグサポートが左右に動いたり、上方に抜けたりしないことを確認してください。）

折りたたみ対応専用座クッションの使いかた

座上(表)面



座下(裏)面



クッション下(裏)面の面ファスナーと座シートの面ファスナーをはり合わせてしっかりと固定します。

警告

クッションがしっかりと座シートに固定されていない状態や、クッションのファスナーがしっかりと締められていない状態でクッションを使用しないでください。



折りたたみ対応専用座クッションは、車いすに固定したままでも、車いすを折りたたむことができます。



注意

車いすを折りたたんで長時間保管する場合は、座クッションを車いすからはずしてください。

座クッションをつけたまま、長い間車いすをたたんでおくと、座クッションに車いすフレームパイプの跡がつく場合があります。



サイドガードについて（必ずご確認ください）



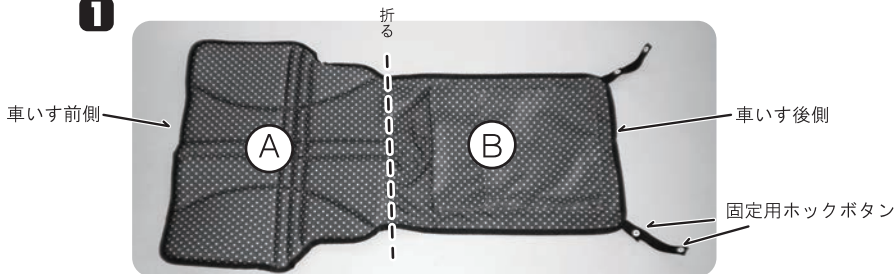
警告

サイドガードはメンテナンスのためにはずせる構造になっていますが、販売店様以外の方はサイドガードをはずさないでください。サイドガードがはずれた状態での使用は事故や製品の破損につながるおそれがあります。

サイドガードが車いすにしっかりと装着されていない場合や、サイドガードに亀裂や破損がある場合は使用を中止し、販売店までご相談ください。

バックサポートシートの取付けた

1



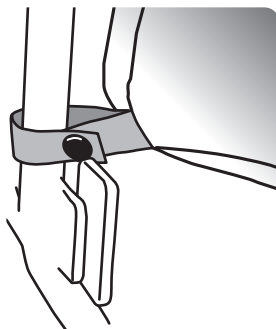
バックサポートシートを上写真のA面がインナーシートの前側、B面がインナーシートの後ろ側になるように、かぶせます。

折った部分がインナーシートのトップにあたるようにかぶせてください。



2

左右のホックボタンのついたベルトを、バックパイプにまわし、ホックボタンでとめて、左右とも固定してください。



注意

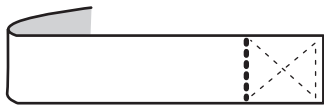
- ・バックサポートシートの取付けは駐車ブレーキをかけて行ってください。
- ・車輪のスポークや各部で手指等を挟まないように注意してください。

取付け時



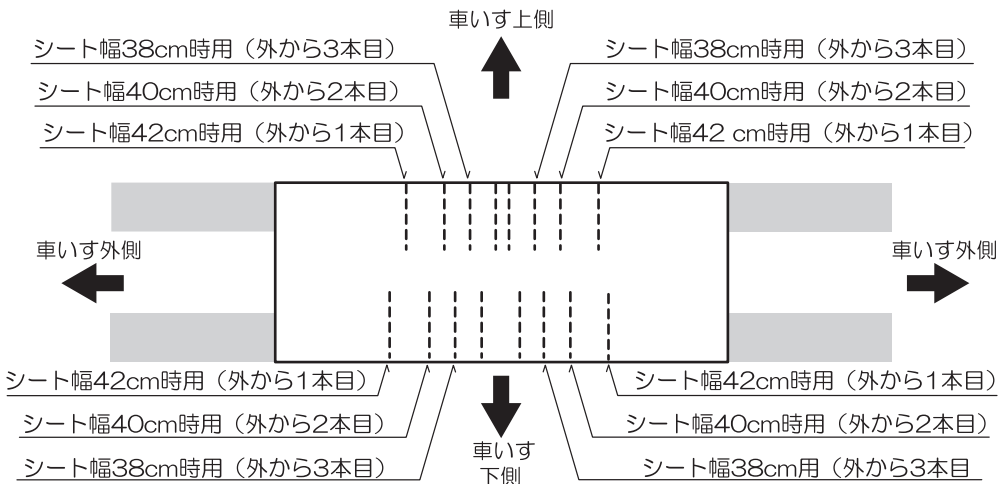
バックサポートインナーシートの設定のしかた

バックサポート上部の調整



このラインをインナーシート上のラインに合わせます。

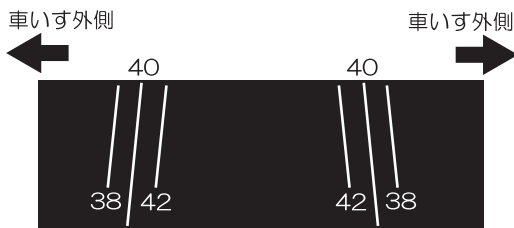
面ファスナーつきベルトの赤い縫い糸のライン（左図）を、インナーシートの赤い縫い糸のラインに合わせます。設定するシート幅により、インナーシートのどのラインと合わせるのかがわかります。



ベルト4本とも、車いすのシート幅にあわせて正しく設定して、面ファスナーで確実に固定してください。

バックサポート下部について

バックサポートの下部は赤い縫い糸のラインにあわせて、シートを重ねて使用します。車いすのシート幅によりどのラインの合わせるのかわかります。（右写真はシート幅40cmの場合）



車いすのシート幅（cm）の数字のラインに貼り合わせるシートの端を合わせます。



全てのインナーベルト、インナーシートが面ファスナーでしっかりと固定されていることを確認し、めくり上げていたバックサポートシートを元にもどします。



注意 警告

- ・バックサポート上部が使用者が乗車した状態で調整する場合、ベルトは必ず1本ずつはずして調整してください。一度に2本以上のベルトの面ファスナーをはずすと、乗車者が落下しケガをするおそれがあります。
- ・ベルトの面ファスナーは確実にバックサポート面に貼りつけてください。
- ・バックサポートの張り調整は、必ず駐車ブレーキをかけて行ってください。
- ・ベルトが破れていたり、面ファスナーがしっかりと効かなくなっている場合などは使用を中止し、販売店に部品交換を依頼してください。



バックサポートインナーシートの装着について

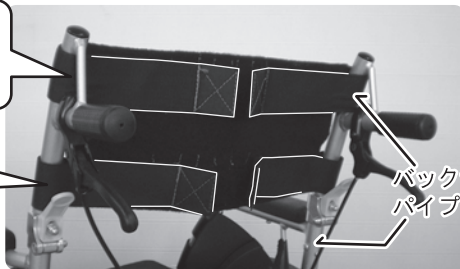
- バックサポートインナーシートは必ず、下記の通りに正しく装着して使用してください。

上部インナーシート



警告

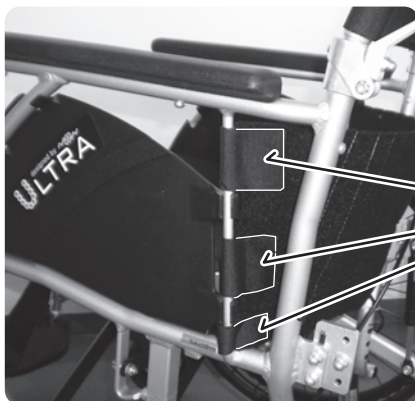
上から2番目のベルトがバックサポート折りたたみレバーを巻き込まないように注意してください。



全てのベルトを、必ず、バックサポートパイプを巻き込んで取り付けて、面ファスナーでインナーシート面にしっかりと貼り合わせて固定してください。

下部インナーシート

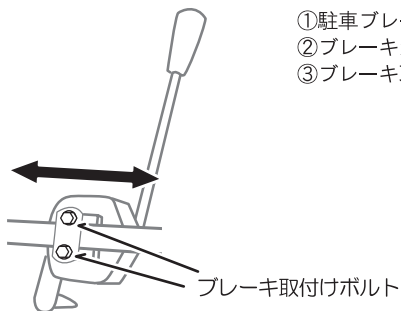
全てのベルトを、必ず、インナーシート取り付け用の細いパイプを巻き込んで取り付けて、面ファスナーでインナーシート面にしっかりと貼り合わせて固定してください。



警告

バックサポートインナーシートが正しく装着されていない状態で乗車した場合、落下や各部の誤動作等で重大な事故につながるおそれがあります。

駐車ブレーキの調節方法（座面高を変更した場合は必ず調節してください）



- ①駐車ブレーキのブレーキ取付けボルトを緩めます。
- ②ブレーキがしっかりかかる位置までブレーキ本体をずらします。
- ③ブレーキ取付けボルトをしっかり締めて固定し、完了です。



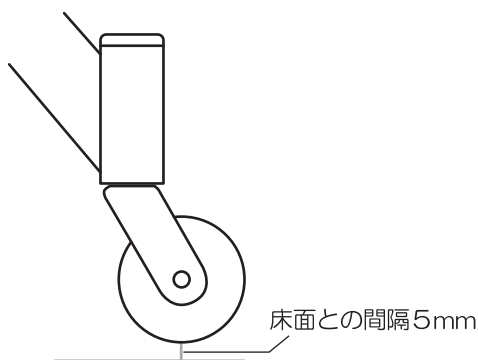
**注意
警告**

使用前には、駐車ブレーキがしっかり効くかどうか、駐車ブレーキがブレーキ取付けボルトとブレーキ取付けプレートでしっかり固定されているかどうか、必ずご確認ください。



ブレーキの調節につきましては、専門知識と技術を持った販売店にご相談・ご依頼ください。

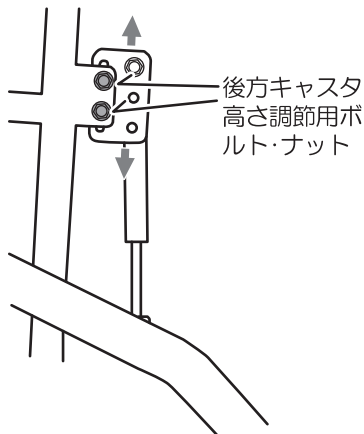
後方キャスト地上高の確認（座面高を変更した場合は必ず実施してください）



NA-U6の後方キャスト輪は、車いす後方に荷重をかけていない状態で床面から5mm程度浮いている高さで使用してください。

後方キャスト地上高の調節のしかた

後方キャスト高さ調節用ボルト・ナットを緩め、ガスダンパーを固定しているプレートを上下にずらし、後方キャストの高さを調節します。後方キャスト輪が床面から5mm程度浮くように調節してから、後方キャスト高さ調節用ボルトを締めて固定してください。



後方キャストの高さの調節につきましては、専門知識と技術を持った販売店にご相談下さい。



**注意
警告**

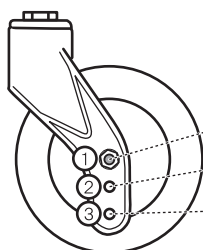
使用前には、後方キャストの高さが適切かどうか、プレートが後方キャスト高さ調節用ボルト・ナットでしっかり固定されているかどうか、必ずご確認ください。

座面高の調節について

【A】キャスタ車輪を止めている車軸ボルトを取付けている穴位置・【B】駆動輪を止めている車軸ボルトを取付けている穴位置・【C】ガスダンパー上部を止めているボルト取付けている穴位置を変更することで座面の高さを変更することができます。



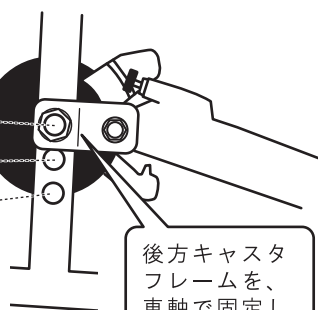
キャスタ



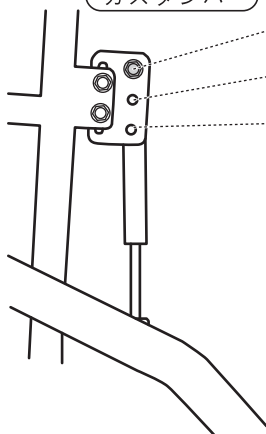
- ①前座高38cm/後座高34.5cm
- ②前座高40cm/後座高36.5cm
- ③前座高42cm/後座高38.5cm

駆動輪

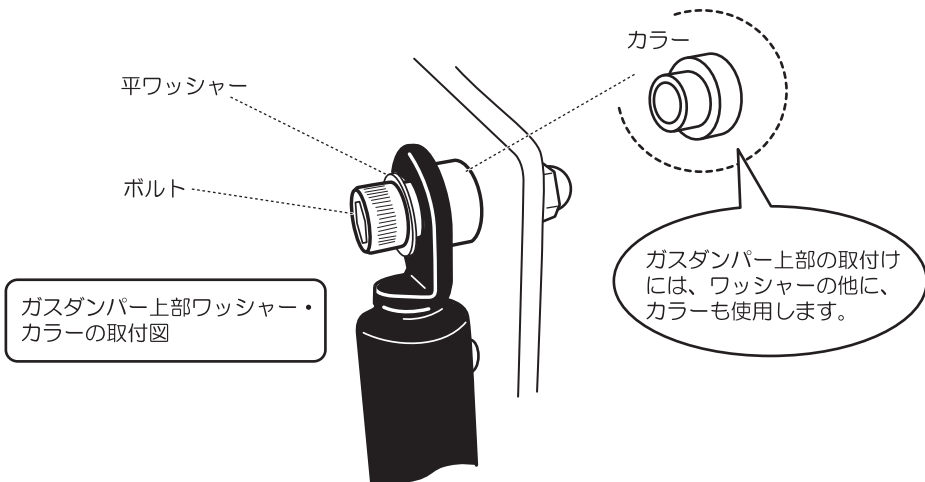
ドラムブレーキ金具



ガスダンパー



- ①前座高38cm/後座高34.5cm
- ②前座高40cm/後座高36.5cm
- ③前座高42cm/後座高38.5cm



キャスタ・駆動輪の車軸・ガスダンパー位置①・②・③の番号が異なる組合わせで設定しないでください。正常な走行ができなくなり危険です。



- ・車軸ボルト・ナット類はしっかり締めてください。車輪が脱落し、事故につながるおそれがあります。
- ・車軸、ガスダンパー取付ボルトのワッシャー類・キャスタ輪軸部カバーは元通りにセットしてください。



キャスタ輪軸部カバー



座面高の変更につきましては、専門知識と技術を持った販売店にご相談・ご依頼ください。

使用前点検（必ず行ってください）

- 介助ブレーキがしっかり効くかどうかご確認ください。
- 駐車ブレーキがしっかり効くかどうかご確認ください。
- 介助ブレーキのワイヤーの張り具合が適当かどうか点検し、正常に動作するかどうかご確認ください。
- ネジ・ボルトのゆるみがないか、フレームのガタつきがひどくないかご確認ください。
※特に、駐車ブレーキの取付け部や、車輪軸部は確実に確認してください。
- シート・ベルトに亀裂や破れがないかご確認ください。
- 駆動輪タイヤの空気圧は適切かどうかご確認ください。（不足している場合は補充してください）
【適正空気圧】100PSI 700kPa 7.0BAR
- 駆動輪タイヤの溝がなくなりかけていないか、タイヤに亀裂がないか、チューブがパンクしていないかご確認ください。
- 車輪のガタ・緩み・曲がり等がないかご確認ください。
- 前輪キャスタ輪及びキャスタフォークに変形、ひび割れ等がないかご確認ください。
- 前輪キャスタが緩んでいないか、抜け落ちていないかご確認ください。
- 後方キャスタ輪及びキャスタフォークに変形、ひび割れ等がないかご確認ください。
- 後方キャスタが緩んでいないか、抜け落ちていないかご確認ください。
- 後方キャスタの高さは適切かどうか（P11参照）ご確認ください。
- 左右の前方キャスタ輪と左右の駆動輪がしっかりと接地しているかご確認ください。
- 左右のサイドガードがしっかりと装着されているかご確認ください。
- 各部パーツの変形、破損がないかご確認ください。
- ガスダンパーにオイルが垂れていないか確認してください。オイルが垂れている場合は使用を中止してください。



警告

製品に異常がある場合は使用を中止し、すみやかに販売店に修理・部品交換・調整をご依頼ください。

メンテナンス・保管方法

- ボルトの緩み、フレームのガタ、タイヤの空気圧の減少など目視や簡単に手で触って分かるようなチェックは、日常的に行ってください。
- 各部のメンテナンス（調節・補修・修理・部品交換等）はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- シートが汚れた場合は中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後水で濡らした布で洗剤をきれいに拭き取ってください。汚れを取ったあとは、完全に乾燥させてからご使用ください。生乾きでの使用はカビや異臭の原因となります。
- 屋内の湿気が少ない場所に保管してください。雨に濡れたり、湿気の高いところには保管しないでください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿場所での長期保管は避けてください。



ウレタン素材には寿命があります。

- クッション性に優れているウレタン素材は、使用頻度にかかわらず経年変化を起こし、割れ、ヒビ、崩れを起こし、破損するおそれがあります。
- 特に通気の悪い場所での長期間の保管は避けてください。
- 割れやヒビ、崩れ等の症状が発生した場合は使用を中止し、販売店に部品交換を依頼してください。



キャスタ輪

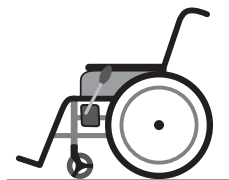


アームサポートパッド
など



床材へのゴム汚染についてのご注意

- 塩化ビニール製のタイルやクッションフロア等は、ゴム製品が接することで、床材の成分とゴムの化学反応により、ゴム汚染とよばれる床の変色が発生する場合があります。
- ゴム製キャスタ車輪やゴム製後輪タイヤを装着している車いすを塩化ビニール製の床で使用する場合、床に直接ゴム部分が触れないように、カーペットを敷くなどの対策をとってください。
- 床材へのゴム汚染の発生は一般的な事象であり、製品の瑕疵（かし）に起因するものではありません。



キャスタ車輪（ゴム製）
後輪タイヤ（ゴム製）



注意・警告

- NA-U6は屋内用の車いすです。屋外での使用はしないでください。
- 各部のガタつきやネジのゆるみ、タイヤのすりへり、その他の不具合により、思わぬ事故につながる場合があります。定期的に取り扱い業者のチェックを受け、不具合がないか確かめてください。
- 使用者の体調が著しく低下しているときは、十分に注意して使用してください。
- からだに合わない状態での使用はしないでください。
- シートの調整が不適切な状態での使用はしないでください。ベルトを極端にきつく張りすぎていても、車いすの折りたたみ動作や可動に悪影響を及ぼし、破損や事故につながるおそれがあります。
- 各部の調整・調節を行うときは、必ず駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。
- 走行時には地面に凹凸や障害物がないか十分に注意してください。走行中、各部に凹凸や障害物が引っかかると、転倒や製品の破損のおそれがあります。
- フレームの座面下側や、車輪、各部の隙間等に手を入れないうでください。各部が動いたり、でっばりに手を触れたりすると、ケガのおそれがあります。
- 倒れかかるような座り方や、身を乗り出すような座り方はしないでください。バランスをくずして転倒することがあります。
- 坂面や傾斜面では特に注意して操作してください。バランスをくずして転倒することがあります。
- エスカレーター・オートスロープ・動く歩道での使用はしないでください。転落、転倒による事故のおそれがあります。
- 手押しハンドルや各部フレームなどに手荷物等を掛けしないでください。荷物等が各部に当たり誤動作をしたり、バランスをくずして転倒する恐れがあります。
- フットサポートの上に立たないでください。製品の破損だけでなく、転倒による事故のおそれがあります。
- 持ち運びの際は、メインフレーム以外を持たないでください。（アームサポートやフットサポート、手押しハンドル、シート等を持って運ぶと、製品の破損や事故につながる恐れがあります。）
- 坂での駐車をしないでください。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをしてください。
- 本書記載以外での使用はしないでください。
- 踏台や脚立・歩行器のかわりに使用しないでください。
- 子供に操作をさせないでください。
- 二人乗りなど多人数での使用はしないでください。
- フレームの折れ、曲がり、シート・ベルト類の破損など壊れた状態での使用はしないでください。（使用を中止し、すみやかに販売店へ修理、部品交換をご依頼ください。）
- 乗車者・介助者とも、車いす使用時には靴をはいてください。はだしで車いすを使用しないでください。思わぬケガのおそれがあります。
- 体重が製品の耐荷重を超える方の使用はしないでください。
- 周辺に小さなお子様がいらっしゃるときは、指や手足を挟むなどして、ケガをするおそれがありますので十分にご注意ください。
- 製品をゆすったり、踏んだりなどの乱暴な取扱いをしたり、落としたり、たたいたりなどの強い力や衝撃を与えないでください。製品が破損することがあります。
- 水にぬれた場合、そのままにしておくと製品に錆びやカビが出ることがあります。ぬれた場合は乾いた布ですみやかに拭きとってください。水中での使用はしないでください。
- 気温の差の激しい場所や異常に高温な場所（車中など）に製品を放置しないでください。フレームが痛むばかりでなく、熱くなったフレームで火傷をしたり、高温になったシートに座ることで体調に悪影響を与えることがあります。
- 改造や分解はしないでください。
- 当取扱説明書内に記載の寸法や重量の値には、製造の都合上、多少の誤差がありますのでご了承ください。
- 製品の改良・改善により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄につきましては、販売店までお問合せください。

保証規定

I. 保証の範囲

- 保証期間中に品質の不完全に基づく故障を生じた場合には下記の保証書により無料で修理いたします。
- 保証期間はご購入後1年間です。
- 但し、次の場合は保証期間中でも有料になります。
 - 取扱い過誤による故障。
 - 製品に改造を加えた場合の故障。※純正品以外の部品を使用した場合も含みます。
 - 天災、地変等による故障ならびに損傷。
 - 消耗部品、タイヤなど。
 - 保証書にお買い上げ店名の記載、捺印のない場合。
 - 保証書のご提示がない場合。
- 以上の保証は本製品を日本国内に設置した場合に限りです。
- この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

II. サービスのご用命

保証期間中、万一故障が生じた場合はお買い上げの販売店へ保証書を添えてお申し出ください。

III. ご注意

保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

品質保証書	
本商品については上面記載の「保証規定」により正常な使用状態において故障が生じた場合に限りお買い上げ日より「1年間」無償にて修理いたします。	
機種	NA-U6
お客さま	ご住所
	(フリガナ) 氏名
	TEL
お買い上げ	年 月 日
	保有効年 月 日 まで
販売店	
日進医療器株式会社	
製造元	〒481-8681 愛知県北名古屋市沖村権現3番地の2 TEL<0568>21-0635(代) FAX<0568>23-2787

日進医療器株式会社

本社 〒481-8681 愛知県北名古屋市沖村権現3番地の2
TEL<0568>21-0635(代) FAX<0568>23-2787
東京営業所 〒112-0002 東京都文京区千石2丁目 2-1
TEL<03>3943-5200(代) FAX<03>3943-5222
大阪営業所 〒533-0013 大阪府大阪市東淀川区豊里 6-16-10
TEL<06>6323-8265(代) FAX<06>6326-2554
九州営業所 〒812-0876 福岡県福岡市博多区昭南町2丁目 3-8
TEL<092>513-5036(代) FAX<092>513-5038

製品の廃棄方法

ご不用となった製品を処分される場合の廃棄方法につきましては、お住まいの自治体のルールに従ってください。